



令和6年11月

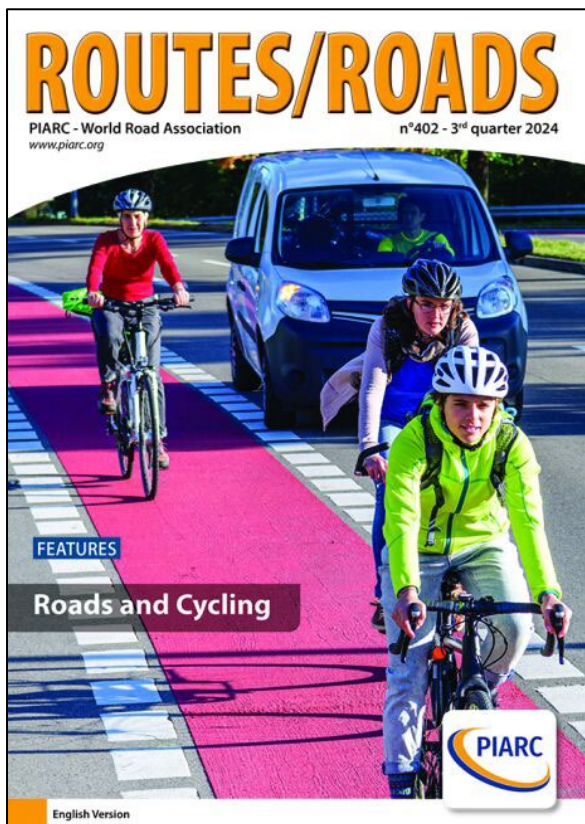
## PIARC 日本国内委員会からのお知らせ

### 【PIARC 団体会員および個人会員の皆さまへ】

日頃より PIARC 活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。ROUTES/ROADS 最新号とともに、PIARC 技術委員会の技術レポートをご案内いたします。本号の特集は、「道路とサイクリング」です。自転車は、1817年にイギリスのバーナード・スミスによって「ドライジーネ」という名前で発明され、世界で急速に普及し人々の交通手段等として発展してきました。本号の特集では、個人の交通手段としての自転車の役割だけでなく、今後益々注目される自転車貨物運搬や環境対策としての側面に関する記事も掲載されています。貨物運搬に関しては既に多くの国でも取り入れられており、コートジボワールでの水不足対策として自動三輪車を活用した配水がおこなわれています（P37）。また、環境の観点からディーゼル車の進入が規制されているフランスでは、都市内の商品配送という課題を解決する鍵として「カーゴバイク」が挙げられています（P55）。環境面や健康面に関しては、自転車は都市内での利用だけではなく、都市間移動の手段、自動車の代替としても注目されています。PIARC は 2023 年スペシャルプロジェクトとして都市間サイクリングインフラに関する調査をおこない、都市間の自転車道整備に関する提案と課題をレポートにまとめています。本プロジェクトに関しては、「未来のための自転車インフラ」（P32）の中で紹介しています。ぜひご覧ください。

### 1. ROUTES/ROADS 最新号（402号）の紹介

#### 【特集】道路とサイクリング



- ✓ 土砂崩れが引き起こすアジアの道路交通災害(中国) -25 頁
- ✓ 持続可能なバイオ燃料：準備が整い、すでに実現可能な解決策を支援する(イタリア) -28 頁

#### ■Features

- ✓ 道路とサイクリング(デンマーク) -31 頁
- ✓ 未来のための自転車インフラ：都市間自転車インフラの研究と今後の展望(デンマーク) -32 頁
- ✓ アビジャンの乾季における道路を利用した配水システム：自動三輪車の活用(コートジボワール) -37 頁
- ✓ カーボンニュートラルな貨物輸送への移行：ナイロビにおける電動ポダポダの事例(ケニア) -41 頁
- ✓ Cyclovize2030、チェコ共和国におけるより安全なサイクリングインフラ -45 頁
- ✓ サラエボにおけるサイクリング(ホ・スア・ヘルツェゴビナ) -49 頁
- ✓ 都市部におけるラストワンマイル配送のための倉庫のロケーションとカーゴバイクのルーティング(フランス) -55 頁

#### 【シャンベリー冬期大会 論文募集のご案内】

2026年3月10日～13日にフランス・シャンベリーにて開催される「第17回冬期サービスとレジリエンスに関する世界大会（通称 シャンベリー冬期大会）」に向けて、現在論文アブストラクトを募集中です。提出〆切は2025年1月31日です。ぜひご応募ください。

シャンベリー冬期大会

論文募集サイト →



### 2. 今号の主な記事の紹介

#### ■What's NEW?

- ✓ シャンベリー冬期大会について -5 頁
- ✓ 電気道路システム：ネット・ゼロを成功させるためのステークホルダーとの関わり方(ドイツ・イギリス) -21 頁

### 3. PIARC 事務局からのお知らせ

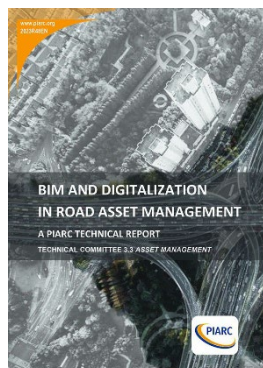
今回よりテクニカルレポート紹介とともに、PIARC 事務局より最新のトピックスを紹介いたします。

#### 【ご紹介するテクニカルレポート】

##### BIM and Digitalization in Road Asset Management

#### 【レポート概要】

本レポートでは、道路アセットマネジメント分野での BIM とデジタル化に関する現状や、各国での導入状況を紹介します。アセットマネジメント委員会による調査では、約 40% の人は BIM に関して興味があるものの、専門知識の不足から BIM 導入ができていないと回答しています。特にアフリカ各国は顕著で、業務で BIM を活用しているという回答は 1 か国も無く、専門知識の不足等が障壁となっているようです。しかしながら、今後の様々な活動を通じて、途上国でも大きく広がりを見ることが想定されます。一方で、先進国各国（スペイン、フランス、ベルギー、日本、韓国）の最新の取組も記載されております。本レポートでは国レベルでの BIM の標準化を推奨しており、標準化に向けたステップについても記載があります。これらの情報が、国内での取組の参考となれば幸いです。



#### 【レポート掲載ページはこちら】

[BIM and Digitalization in Road Asset Management](#)



#### 【Road Dictionary (道路用語辞典) のご紹介】

PIARC では、道路および交通に関する専門用語を網羅した「道路用語辞典」を提供しています。この辞典は、PIARC ウェブサイトにて無料のアカウント登録をおこなうことでどなたでも使用することができます。道路インフラ、建設用語、交通管理、環境保護、法律・財務など、道路関係分野の幅広い用語を含んでおり、英語⇄日本語は、約 13,000 語（全用語のうち、約 85% をカバー）収録されています。海外に関連した業務に携わる方だけでなく、研究者や学生にとっても非常に有用なリソースになると思われます。なお、仏独西は 100% のカバーされており、その他約 30 か国の言語による用語も一部掲載されています。本辞典は、用語委員会を通じて、今後も継続的に更新されていき

ますので、ぜひご活用ください。

ウェブサイトはこちら→ [Road Dictionary - PIARC](#)

#### 【PIARC セミナー・ワークショップのご案内】

PIARC では各技術委員会活動の一環として、各国で様々なセミナーやワークショップ等を開催しています。多くのイベントは一般参加が可能で、近年ではオンラインでの参加も可能です。イベント後には各プレゼンテーションがウェブサイト上に掲載されます。多くの方にイベントに参加をいただければ幸いです。今後のイベント情報は[こちら](#)からご確認いただけます。今後は注目されるイベントをご紹介します。【イベントスケジュール】



#### 【フランスの自転車政策】

※筆者の個人所感

フランス政府は、環境対策の一環として、2027 年までに 20 億ユーロ（約 3,200 億円）を投資し、自転車インフラの整備や自転車購入の補助、さらには子供への自転車教育を行うことで、持続可能な交通手段としての自転車の役割を強化しようとしています。例えば、パリ都市圏ではパリ市内および郊外を結ぶ自転車道を整備する Vélo Île-de-France network プロジェクトが進行中で、2025 年末には 450km に達する見込みです。多くは専用の自転車道整備、歩道併設を予定していますが、パリ市内では近年車道を 1 車線廃止して自転車道にするケースも見られます（右写真）。



また、道路（側道）上に小規模の駐輪場が多く整備され、自転車シェアリングの整備などがなされており、通勤で利用する人も多いようです。元々東京に比べるとパリの自転車の交通分担率は低いようですが、フランスはストライキにより公共交通機関が動かなくなることもあり、自転車の活用は、フランス国民に広く受け入れられていくのかもしれない。

PIARC 活動に関するご意見、ご質問等ございましたら、以下までご連絡いただければ幸いです。

PIARC 日本国内委員会事務局 安藤：[ando@road.or.jp](mailto:ando@road.or.jp)

PIARC 本部事務局 広地：[go.hirochi@piarc.org](mailto:go.hirochi@piarc.org)